

2006年度秋学期オープンカレッジ講義科目

分野	科目名	コード	曜日・時限	教員名	講義内容
工 学	成形・接合工学	1-A 1-B	(水曜日)9:30~11:00 (木曜日)11:10~12:40	長谷川 正義	切削しないで部品・製品の形状をつくる塑性加工、鍛造、及びこれらを組み立てて製品とする溶接技術について。
	電気電子物性B	2	(金曜日)15:10~16:40	井戸敏之	超伝導やオプトエレクトロニクスなどの先端電気電子材料について、その特性や活用方法について。
	ソフトウェア工学A	3-A 3-B	(火曜日)9:30~11:00 (火曜日)13:30~15:00	長坂 保典	基本ソフトウェア(OS)の役割・機能などに関する基礎知識を、UNIXベースで学習。コマンドを理解・活用できるようにする。
	光通信	4	(水曜日)9:30~11:00	脇田 絃一	ブロードバンドの基盤技術である光通信について、光ファイバ、半導体レーザ、光増幅器などの動作原理から構造・性能について。
	社会資本計画	5	(水曜日)9:30~11:00	磯部 友彦	都市施設の計画策定のための各種手法、具体的には公共社会資本の計画的整備に関する理論と技法について。
	建築と社会B	6	(金曜日)13:30~15:00	片岡 靖夫 稲川 直樹 延藤 安弘	各時代の文化・地域と密接に関係してきた建築を通じて、社会・人・生活と建築の関係を理解する。4人の教員がリレー形式で論じる。
	理論有機化学	7-A 7-B	(木曜日)11:10~12:40 (木曜日)15:10~16:40	瀬戸 鏡吾	自然界の物質を構成する元素の基礎理解、原子および分子軌道、結合などについて理解し、有機化学学習の基礎について。
	基礎有機化学	8	(水曜日)9:30~11:00	盛 秀彦	メタンに代表される数々の有機化合物の物質名および反応を体系的に理解することで、有機化学分野学習の基礎を構築する。
	形式言語とオートマトン	9	(火曜日)9:30~11:00	奥居 哲	コンパイラなどのソフトウェア設計を支える基礎理論となるオートマトンと形式言語理論について、演習についても含む。
自然科学	微分積分学Ⅱ	10	(水曜日)13:30~15:00 (金曜日)11:10~12:40	手嶋 忠之	多変数関数が理解でき、図形が想像でき、それに関する微分積分の意味・計算・応用ができるようになることを目標とする。
		11	(火曜日)9:30~11:00 (金曜日)9:30~11:00	北村 市次郎	
	線形代数Ⅱ	12	(火曜日)16:50~18:20	手嶋 忠之	線形代数Ⅰで学習した行列とベクトルについての応用問題を扱う。2・3次行列の固有値～応用問題、ベクトルの内・外積計算など。
	地球の科学B	13-A 13-B 13-C 13-D	(金曜日)13:30~15:00 (金曜日)15:10~16:40 (土曜日)9:30~11:00 (土曜日)11:10~12:40	志知 龍一	人間と自然・環境との間で生まれている深刻な問題についての理解。特に地震予知や自然災害など具体的な課題について。
	熱学	14-A 14-B	(水曜日)9:30~11:00 (木曜日)9:30~11:00	大木戸 貞夫	物理学の根幹をなす技術分野であり、エネルギー・資源・環境問題等で重要性を増している熱学を、熱力学・統計力学の両面から学ぶ。
	数理科学	15-A 15-B	(水曜日)9:30~11:00 (水曜日)13:30~15:00	北村 市次郎	春学期の同科目と内容は異なる。実例を通した数学モデルの作り方を学び、各分野で数学がどのように使われるのかについて。
	近代・現代物理学	16	(水曜日)13:30~15:00	奥村 吉孝	相対性理論や量子力学、及びこの基礎理論に基づく原子・分子の諸性質、物質の物性、宇宙における現象について。
経営学	現代市民法	17	(水曜日)13:30~15:00	牧野 英克	人生の節目(教育・成人・就職・結婚・相続等)や日常の市民生活(隣人関係・契約・投資等)で関係する諸法規について。
	経営ケース分析	18	(火曜日)9:30~11:00	西田 豊昭	企業運営における戦略からM&A・文化まで、ケースメソッドに基づいて経営学の基礎的な概念について分析力・判断力を養成する。
	財政学	19	(水曜日)9:30~11:00	石田 昌夫	政府の歳入面に重点を置いて歳入の内訳は租税と公債であり、この特徴と相異・経済への影響について。
	中小企業論	20	(木曜日)15:10~16:40	森岡 孝文	大企業に比べ、経営資源が乏しい中小企業の経営上の問題点と同時に、創意工夫で発展する中小企業の実態を解明する。
国際地域学	東アジアを知るB	21	(金曜日)11:10~12:40	澁谷 鎮明	東アジア、中でも朝鮮半島に力点を置き、文化や社会的側面、具体的には自然環境や歴史、社会制度、宗教について。
	東南アジアを知るB	22	(木曜日)15:10~16:40	立本 成文	民族・ナショナリズム・社会構造・自然環境・産業・都市問題など、幅広い側面で東南アジアの地域について。
	アフリカを知るB	23	(水曜日)11:10~12:40	青木 澄夫	日本とアフリカの関係・交流・協力の歴史を、新聞雑誌や旅行記・報告書・絵本などを使って、リアルなアフリカを概観する。

2006年度秋学期オープンカレッジ講義科目

分野	科目名	コード	曜日・時限	教員名	講義内容
国際地域学	中東を知るB	24	(水曜日)11:10~12:40	堀内 勝	モスクを切り口にイスラムの最初期から近現代までの建築文化を通観することで、中東の歴史を理解し、イスラム文化を概観する。
	ヨーロッパを知るB	25	(水曜日)11:10~12:40	小島 亮	東欧の歴史から政治・経済を概観することで、社会経済構造を明らかにし、文化的特徴を理解する。
	ラテンアメリカを知るB	26	(水曜日)11:10~12:40	田中 高	同地域の政治経済事情についての入門的講義。ビデオ教材も活用し、ラテンアメリカ諸国が独立後の主要な動きを、具体的に概説する。
国際人間学	国際金融論	27	(木曜日)9:30~11:00	高 英求	国際金融に関する基礎的な用語・概念を学習することで、報道される経済ニュースや専門書籍・論文などについて。
	開発マネジメント論	28	(火曜日)16:50~18:20	野田 真里	「公共・開発マネジメントと貧困削減」がテーマ。住民参加に基づき、より良い公共サービスを提供するための開発について。
	日本の開発経験	29	(月曜日)13:30~15:00	野田 真里	「世界の中の豊かな日本・貧しい日本」がテーマ。アジア初の先進国となった日本の開発経験を、経済・社会の諸側面から検討する。
	比較宗教学	30	(月曜日)11:10~12:40	黄 強	中国は55の少数民族からなる多民族国家。中国における多種多様な宗教信仰についての基礎知識。
	社会学	31	(火曜日)13:30~15:00	ウルリッヒ・メーワルト	社会における不平等と社会成層との関係を取り扱い、産業社会の特徴と階級理論に始まり、社会階層と職業、社会成層について。
日本語日本文学	古典文学講義B	32	(月曜日)15:10~16:40	岡本 勝	『伊勢物語』を通じ、古典文学への理解を深めると同時に、草書体文字に馴れることで平安時代の生活や文化について。
	民間伝承論B	33	(金曜日)9:30~11:00	永田 典子	民俗学の方法に基づき、民間伝承のもつ意味を分析的に考察。日本人の基層文化について。
	日本の文化B	34	(木曜日)13:30~15:00	大山 誠一	日本列島はしばしば東西の違いが強調されるが、その東西という概念が成立した根拠と意味を、古代~中世史について。
	伝統芸能論	35	(木曜日)11:10~12:40	嘉原 優子	アジアに伝わる伝統芸能に親しみ、それぞれの地域文化との関係性から、伝統的要素と現代的変容までについて。
	近現代文学購読B	36	(水曜日)11:10~12:40	愛知 峰子	樋口一葉の文学を取り上げる。小説・日記などを読み進め文学的理解を図るだけでなく、時代背景や彼女の生き方などについて。
英語・英米文化学	英語のしくみB	37	(火曜日)9:30~11:00	槇田 裕加	英語のしくみを、他言語(主に日本語)と比較対照することにより理解し、さらに歴史的発達をも観察する。
	スペシャルトピックスB	38	(火曜日)13:30~15:00	チャールズ・サンディー	Let's read about, discuss, and research for the various issues surrounding the history of language education in the 20th century.
コミュニケーション学	映像と文化史B	39	(火曜日)11:10~12:40	小川 順子	日常生活の中に映像があるのが当然の時代に、歴史的な流れにおいて映像メディアを捉え直してみる。文化と関連性も合わせて。
	新聞論B	40	(月曜日)15:10~16:40	大橋 弘	市民社会の必要性から生まれ発展した新聞だが、現代では多くの問題点を抱え、これらの問題点を読者の視点から把握・検証する。
	現代文化史B	41	(金曜日)11:10~12:40	井上 輝夫	現代の文化的問題群を取り上げながら、現代という時代の基礎的な思潮を、コトバ・哲学・芸術を通して考える。
	情報産業論B	42	(木曜日)13:30~15:00	福田 功	新聞・出版・放送・ネットなどのマス・メディア企業が直面する諸問題や経営的課題を、具体例から検証・分析し、将来を展望する。
心理学	文化心理学A	43	(火曜日)11:10~12:40	梶田 正巳	外国文化の中で長期にわたって暮らすと、言語や学力、個性にどのような影響が現れるのかを、日本人をケースに分析・検証する。
歴史・地理学	日本の近世B	44	(月曜日)13:30~15:00	篠宮 雄二	日本の近世都市成立は現代都市の幕開けであり、現代都市に近世都市を対置させることで、現代都市が抱える諸問題を把握する。
	経済地理学	45	(月曜日)15:10~16:40	中藤 康俊	都市化に伴う住宅・交通・環境問題、農山村の過疎化に伴う医療・福祉、教育・文化などの諸問題を明確にし、国土政策を考える。
	日本とアジアB(歴史)	46	(月曜日)13:30~15:00	趙 寛子	日本と東北アジアにおける近代化の過程と冷戦時代の歴史を検討、ナショナリズムや一國史を超える歴史認識問題について。

2006年度秋学期オープンカレッジ講義科目

分野	科目名	コード	曜日・時限	教員名	講義内容
芸術学	総合芸術論	47	(月曜日)13:30~15:00	鶴田 正道	オペラを通じて、現代に生きるあなたが持てる才能を駆使して「芸術によって現代世界をまるごと所有する方法」について。
	美術の思想と表現	48	(水曜日)11:10~12:40	千葉 成夫	美術作品を実際に見て、そのイメージを記憶することを通じて、視野を広げ、人間の美術活動についていろいろな角度から考える。
	音楽の表現と歴史	49	(月曜日)15:10~16:40	鶴田 正道	総合芸術であるオペラを鑑賞しながら、歌・管弦楽・演奏・台詞・演技・演出から文学・美術・建築・歴史・哲学までを広く考察する。
応用生物化学・環境生物学	環境科学概論	50-A 50-B	(水曜日)13:30~15:00 (木曜日)13:30~15:00	南 基泰	人間を取り巻く生物的環境の実態と、その利用・保護についての問題点について。
	微生物学	51	(火曜日)9:30~11:00	永井 和夫	バイオサイエンス・バイオテクノロジー研究の根幹をなす微生物の種類と特徴、構造と機能、増殖と分化などについて。
		52	(火曜日)11:10~12:40	荒井 基夫	
		53	(金曜日)9:30~11:00	柴井 博四郎	
	食品科学概論	54-A 54-B	(木曜日)11:10~12:40 (金曜日)11:10~12:40	和田 俊夫	食品の構成成分、おいしさに関わる要素、加工における成分変化、食事と健康との関わり、安全性の確保など幅広く概観する。
	植物生理学	55	(水曜日)11:10~12:40	坂野 弘美	分子レベルから個体レベルまでを視野に入れて、植物の生理機能と最近の植物バイオテクノロジーについて。
	環境動物学	56	(金曜日)11:10~12:40	須藤 千春	人間の生活に深く関係し、農業や医療に多くの益と害をもたらす、昆虫・クモ・ダニなどの節足動物の生命活動の論理について。
	理論生物学	57	(金曜日)11:10~12:40	関村 利朗	生物の諸現象を数理的手法により理解する理論生物学は、近年質量ともに急速な発展を遂げており、その考え方・解析方法を概観する。
	機器分析化学	58	(火曜日)9:30~11:00	山本 敦	エレクトロニクス技術の発展で急速に進化する分析機器の基本原理解を理解し、正しい操作法と正確なデータ解析手法について。
	微生物生理学	59	(火曜日)9:30~11:00	山根 恒夫	微生物の持つ物質代謝の多様性を、エネルギー獲得形式の多様性と細胞構成成分の生合成の共通性という観点から、統一的理解を図る。
	食品分析学	60	(水曜日)11:10~12:40	山本 敦	食品中に含まれる、栄養素をはじめ、農薬や抗菌剤等の食品汚染物、食品添加物などの諸成分の分析法を理解する。
	生物物理学	61	(水曜日)11:10~12:40	関村 利朗	遺伝子、発生学、生態学など問題解明の鍵となる視点の統合化を目指し、「生物の形態やパターン形成」の問題について。
	土壌圏環境科学	62	(火曜日)11:10~12:40	須藤 千春	不均一で地域性・個性性を有し、多様な生物環境を形成し、局地的な固有の生態系を育む土壌空間の特質について。
	水圏環境科学	63	(金曜日)13:30~15:00	寺井 久慈	水圏の物理的・化学的特性、生態系食物連鎖、物質循環の基本を学習すると同時に、人間の社会活動による水圏への影響について。
	細胞工学概論	64-A 64-B	(月曜日)9:30~11:00 (月曜日)11:10~12:40	禹 済泰	細胞を工学的に利用するために必要な分野であり、細胞の機能や現象の理解、細胞の有する多彩な機能や能力の応用までを概説する。
	植物細胞工学	65	(木曜日)11:10~12:40	小島 晶子	前半は遺伝子工学の基本的な技術を使用例で学習、後半は実際の遺伝子導入法を中心に植物の形質転換体作出の原理と利用について。
	生物有機化学	66	(木曜日)9:30~11:00	岡田 鈺彦	生命現象に深く関わる物質の働きを、有機化学の観点から、同時に生物機能の人工的創出のための基本的な分子設計方法について。
	食品工学	67	(金曜日)15:10~16:40	森山 龍一	食品化学を基礎とし、加工食品の原料・組成および製造法を学習し、食品製造の基礎知識や加工食品に対する化学的知識を身につける。
	生物工学	68	(月曜日)11:10~12:40	大塚 健三	医療・品種改良・食糧増産への応用からクローン人間まで、最先端トピックスから、バイオテクノロジーの進化発展について。
	環境修復学	69	(金曜日)15:10~16:40	谷山 鉄郎	生物の多様性がなぜ必要なのか、人間がいかに地球環境を破壊してきたのかを理解し、病んだ環境の修復・再生・管理方法を探る。
地球環境保全論	70	(水曜日)9:30~11:00	谷山 鉄郎	人間が引き起こした公害問題から、地球環境破壊を多面的に理解し、環境修復、自然保護、生物の多様性などについて。	
生命健康科学	公衆衛生学	71-A 71-B	(火曜日)9:30~11:00 (火曜日)13:30~15:00	城 憲秀	健康事象の因果関係、疫学、保健統計、社会的な健康増進サポートシステム等、疾病予防・健康づくりの基本となる事項について。